

競技注意事項

1 本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

児童（小学生）である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。そのため、競技者の衣類（ユニフォームを除く）・バッグ等の広告規程、及びシューズ規程に関する改定ルール（TR5.2・競技用靴）については適用外とする。

- (1) 1000m、800mを除く種目は、オールウェザー用のスパイクシューズ（ピンの長さ9mm 以内、本数11 本以内）を使用してもよい。はだしでの競技は認めない。
- (2) スタートは、クラウチングスタートとし、スターティングブロックを使用してもよい。ただし、小学3・4 年生は、スタンディングスタートを認める。
- (3) スターターは、英語で「On your marks : オン・ユア・マークス」（位置について）「Set : セット」（用意）と合図する。その際、同じ競技者が2 回の不正スタートをした場合、その競技者は失格となる。
- (4) リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは、30m とする。走者は、テイク・オーバー・ゾーン内からスタートしなければならない。マーキングのテープはチームで準備し、1 ヶ所のみ貼ることができる。また、リレーチームの上着のユニフォームは全競技者とも同一デザインとする。ただし、型の違いはデザインが同じであれば認めるものとする。
※ 出場のチームは、当日配付する「リレー・オーダー用紙」に記入の上、招集完了時刻の1 時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主管が任命した医務員の判断がない限り認められず、変更も該当走者の区間のみとし走順の変更はできない。
- (5) 80mH は、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9 台、スタートから第1 ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11m とする。
- (6) 走幅跳・ジャベリックボール投は、一人3 回の試技とし、トップ8 は行わない。
- (7) 走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背、腰等から落下した場合は無効試技とする。走高跳の試技の高さは、下表のとおりとする。3 回続けて失敗した場合は試技終了となる。

	練習	1	2	3	4	5	以降
男子	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	3cm ずつ
女子	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	3cm ずつ

- (8) ジャベリックボール投は、主管が準備したジャベリックボールを使用し、助走距離は15m 以内とする（やり投げのピットを使用する）。投げ方は、ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることとする。羽だけを持って投げることは禁止する。

2 ウォーミングアップ・練習について

- (1) 練習は、各個人及び指導者の責任のもと、ウォームアップ場係の指示により行い、事故防止には注意を払うこと。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主管において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) ウォーミングアップは、サブグラウンドで行うこと。ただし、時間帯によっては下表及び係員の指示に従って行うことができる。

トラック全体	バックストレート	フィールドピット	サブグラウンド
7 : 30 ~ 9 : 00		招集完了後 ~ 競技開始まで	7 : 30 ~ 競技終了まで
	9 : 00 ~ 9 : 50		

3 招集について

- (1) 招集所は、南側ゲート（100mスタート後ろ側）に設置する。
- (2) 招集開始・完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。招集開始時刻には点呼を開始し、完了時刻には移動を開始する。したがって、招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものととする。

	種別		招集開始	招集完了
トラック競技	予選	1～3組	35分前	20分前
		4組～	20分前	5分前
	決勝（決勝リレーを含む）		30分前	15分前
フィールド競技	決勝		45分前	30分前

- (3) 招集は競技者本人が直接行い、ユニフォーム・アスリートビブス・スパイク等の点検を受ける。トラック競技に出場する競技者（リレーはアンカーのみ）は、腰ナンバーカードを受け取り、下半身の右後方につける。アスリートビブスは、主管が配付したもの（2枚）を、胸と背にはっきり見えるようにつけるなければならない。

4 競技場内への入退場について

- (1) 競技場内への入退場は、北側ゲートと南側ゲートの2か所とする。ただし、選手・競技役員・補助員以外は競技場内に入場できない。
- (2) ゴール後は、競技役員の指示に従い、北側ゲートから退場する。なお、スタート地点に戻る際は、60m・100m・80mHは競技場の外をまわり、南側ゲートから入ること。（本部前を通らない）また、1000mはトラック外側を通り（第1・2コーナー）スタート地点に戻ることに。
- (3) フィールド競技の選手は、競技役員の指示で近くのゲートから退場する。

5 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。ただし、いかなる抗議も、競技者自身または監督から審判長に対して口頭で行うこととする。

6 表彰について

- ・ 個人種目：6位までの入賞者には賞状、優勝者にはメダルを授与する。
- ・ 男女別リレー：6位までの入賞チームには、個人用賞状5枚・チーム用賞状1枚、優勝チームには、個人用メダルを5個授与する。
- ・ 男女混合リレー：6位までの入賞チームには、個人用賞状6枚・チーム用賞状1枚、優勝チームには、個人用メダルを6個授与する。

※ 日程の都合上、表彰式は行わない。6位までの入賞者・チームは、成績発表のアナウンスより30分経過以降、正面入口左手の会議室で受けとること。

7 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主管は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 以下の撮影行為を禁止する。
 - ① 競技者や保護者からの同意を得ていない画像や動画の撮影。およびSNSへの投稿や掲載。
 - ② 撮影禁止区域（スタート後方・ピット正面等）からの撮影。
 - ③ 競技に関係のない撮影（ブロック設置時・試技待機中・ゴール後倒れこんだ選手等）
 - ④ その他、競技役員から指示があるもの。

8 その他

- (1) 応援幕・のぼりはメインスタンド最上部または芝スタンド背面フェンスに張ること。なお、メインスタンドでのテントやタープの設置・シートによる場所取りは禁止する。
- (2) フィールド競技のスタンドからの助言は、コーチングエリア（コーンで示す）から行うこと。エリアは助言の時だけ使用するものとし、常駐しないこと。また、招集後に、競技者に触れたり審判長の許可なく物を渡したりする行為は、失格扱いとなるので注意すること。

＜競技会運営留意事項＞

○ 事故防止及び競技者はじめ関係者の安全を期すためのテント設営の際の取扱い基準について

- (1) テント設営にあたっては、地面とテントの支柱をロープと杭等により固定すること又は支柱にバランス良くテントウエイト（オモシ：土砂などを入れた袋等（10～30kg程度）を支柱にくくりつけるなど）を取付けること。
- (2) 風速3m/秒以上になった時又は3m/秒以下でも軽い突風、つむじ風などが発生した時は、アナウンスによる注意及び指示に従って安全対策の実施状況を点検し、上記の基準（1）を徹底することまた、危険と思われる突風、つむじ風などが発生した時は、テントをたたみ飛ばされないようにすること。
- (3) 倒壊及び人身事故があった場合は直ちに状況を確認のうえ大会総務に口頭で報告するとともに、ケガ人等の程度を見て必要に応じ救急車を要請すること。

○ 災害・事故発生に対する措置について

- (1) 怪我の対応について
 - ・ 救護役員（医師）による応急手当を行う。
 - ・ 山形陸上競技協会派遣医師による手当てを行う。
 - ・ 近隣病院へ搬送する。この場合は、引率者または保護者対応とする。
- (2) 災害への対応について
 - ・ 大雨・強風・落雷・Jアラート等による競技の中断・中止・続行の判断は、審判長・総務で協議し、放送により通知する。避難する場合は、施設の職員・役員の指示に従うこと。

○ 駐車場の利用について

- ・ 競技場の敷地内の駐車場を利用する。
- ・ 競技場から出る際は、混雑解消のため誘導員の指示に従うこととする。